

令和8年度 第1回 学校運営協議会

令和8年5月7日（木）

9:40～11:00

大里西小学校会議室

1 開会の言葉

2 会長あいさつ

- ・ 退職してから16～17年経った。学校における教育活動の最終目標は変わらないが、手段がかなり変化している。
- ・ 子どもたちの成長によりよく関われたら…と思う。

3 委員自己紹介（敬称省略） ※要項参照

4 学校より提案

（1）学校運営基本方針について（校長）

- ・ 40分授業の進め方は、教員にどのように説明しているのか。共通理解はできているのか。
→ 1時間単位で考えるのではなく、1单元内でどのように進めるのかで授業を組み立てている。
- ・ 5分の休み時間で、体操服への着替えはできるのか。
→ 朝の時間や長い休み時間に着替えることにしている。



（2）教育活動について（教務）

- ・ モジュールの時間の考え方を教えてほしい。
→ 今年度に始まった時間ではなく、これまでも行ってきた。あらかじめモジュールで学習するように割り振った单元やその日の補充を行っている。

（3）施設・設備について（校務）

（4）学校評価について（教頭）

- ・ 保護者へのアンケートに「このようなことに力を注いでいる」という学校の思いをもっと目立つように記載するとよい。
- ・ 電話がつながるのは、何時までか。
→ 16:45までで、それ以降は緊急な場合に限り教育委員会に連絡するようにお願いしている。

（1）～（4）について承認の採決 → 承認された

5 連絡・依頼

【グループ協議】

(地域や家庭、学校運営協議会として連携・協働できること)

- ・教務主任・・・保護者や日常的に関わる立場から

保護者が子どもの二面性に気付いていないように感じる。

→ 家と学校での姿が違い、家での姿が子どもの本当の姿だと勘違いしている保護者が少なくない。

子どもたちにどの程度言ってよいのか、地域の人は分からない。

→ 言われないので、子どもたちは修正されないまま、どんどんひどくなる。注意した地域の人が保護者からお叱りを受ける。

◎ 1～3年までに家庭できちんとしつけをするようにしたい。

◎ 素直に自分を出せる雰囲気づくりが家庭・学校・地域で必要である。

- ・教頭・・・地域等の立場から

登下校についての課題を学校に解決するよう要請してくる地域の人がある。

→ 子どもたち同士でよく面倒を見合っている。子どもなりの見守りも感心させられる。

アンアン隊の活動に対する熱量に格差がある。

→ 本来の「地域の見守り」という目的が、「子どもたちの登下校に必ず就く」「絶対、安全に送り届けなければ…」という思い責任に変わっている。

◎ 市民センターやまちづくりがもっとPRをしていく。



7 閉会の言葉